

## 6/15 子どもたちが川下り体験

中央公民館事業「ふるさと少年クラブ」の子どもたちが6月15日、市街地を流れる常呂川でラフティングを楽しみました。小学4年～6年生の24人が、救命胴衣とヘルメットを着用し、5艇のボートに分乗。拓殖橋上手から種川合流点までの約2キロ区間を下りました。流れが穏やかな箇所では全員でパドルを使って前進。途中、橋の上から手を振る保護者などに笑顔で応えていました。



## 6/19 マイ箸を作ろう

どま工房で6月19日、「木に親しむ日」の木工教室が開かれました。全3回シリーズの初回となったこの日は、主婦ら8人が鉋（かんな）削り箸作りに挑戦。講師を務める森林工芸館の職員から「自分が使いやすい太さ、形になるまで丁寧に削りましょう」とアドバイスを受け、作業台に固定した細長い材料の角に豆鉋を押し当て滑らせながら、マイ箸へと仕上げる作業に没頭していました。



## 7/4 置戸のフキを学校給食に

学校給食センターは7月4日、子どもたちに地元の新鮮な山菜を味わってもらおうと恒例のフキ採りを行いました。この日は、ハンター同行のもと町職員など15人が鹿ノ子ダム奥まで出かけ、約400キロのフキを採取。トラックで同センターまで運び込むと、おけと大学生などのボランティアが皮をむき塩漬けに。これらのフキは、フキご飯や油炒めなど多くの献立に取り入れられます。



## 7/9 「自炊」で食への関心高め

単身世帯の若者などを対象とした料理教室が7月9日、中央公民館で開かれました。管理栄養士の佐々木十美さんを講師に、普段は自炊する習慣のあまりない若者たちがグループに分かれ、わかめと野菜のスープ、コーンクリームスパゲティ、カリカリチキンのねぎソースの3品を調理。レシピを見たり味見をするなどして、おいしく栄養バランスのとれた献立を完成させていました。

